

◇ 令和3年度 指定管理者事業評価書

施設名	ロクハ公園			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	建設部	公園緑地課	初年度	97,174,970円	17,108,000円	133,191,603円	令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、プール事業はじめ多くの事業が中止や縮小となり、利用料金が大幅な減となった。	ロクハモデル適用により安心・安全に利用できるプール事業を展開しデイキャンプ場利用申請などへITを活用した利便性の高いサービスを提供する。
施設HPアドレス	https://www.park-698.net/		2年目					
指定管理者名	公益財団法人 草津市コミュニティ事業団		3年目					
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
4	☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	利用料金制
指定管理者による運営開始日	平成18年04月01日
施設の供用開始日	昭和63年04月01日
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆
令和3年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入) 指定管理初年度において新たな業務としてみどりのサポートセンターによる市民からの問合せ・要望などの受付窓口一元化やガーデニング事業の推進また、十分な新型コロナウイルス感染症対策を講じてイベントやプール事業運営を事業団、草津造園協同組合と(株)サンアメニティ大阪がそれぞれの専門性を活かして業務を実施する。 公園利用者数 99,300人 プール利用者数 73,500人(5/15オープン～9/30、新型コロナウイルス感染症対策なしの前提) 事業収益 139,503千円 事業支出 139,503千円 事業実施数 32事業(ロクハ荘との連携事業7件を含む)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入) 令和3年度の事業評価として、都市公園や児童遊園の維持管理やロクハ公園プールの運営等の仕様書・協定書等の基準を遵守していたと評価できる。公園の維持管理の修繕管理については四半期毎の修繕計画を作成され、計画通りの執行がなされているが、植栽管理については、地元町内会等と適切な調整を図り、さらなる業務の執行を図っていただきたい。 また、プール事業については昨年度の経験を生かし、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、施設利用者の安全の確保に努めたことが評価できる。プール営業については、8/27から利用を中止したことで、昨年度と同様に、利用人数や事業収益が減少となったが、新たな財源確保として自動販売機の設置を行い事業収支課題の改善に努められた。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策「ロクハモデル」を講じてプールは5/15からオープンすることが出来たが、滋賀県への緊急事態宣言適用により8/26をもって今季利用が中止となった。デイキャンプ場も4/29から6/28まで、および8/7から9/30が利用中止となり利用者数が減少したが利用申込のスマホ対応などの改善により下期の利用が伸びた。緑化フェアも中止されたがロクハ荘と共同で3週間にわたるロクハ感謝月間を企画し小規模・分散型の22イベントを開催した。これら事業の中止や制約により利用料金収入は大幅に減少したが、草津市より指定管理者休業協力金支援事業交付金17,913,000円が交付された。 公園利用者数 44,603人(45%) プール利用者数 33,791人(46%、5/15オープン～8/26、ロクハモデル適用) 事業収益 138,064千円(99%) 事業支出 133,191千円(95%) 事業実施数 50事業(ロクハ荘との連携事業5件を含む)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証 (応募状況:公募) 施設管理に関して、高い管理技術と専門的知識、経済的運営を行う管理者を求めため公募による選定とした。 (使用料・利用料金制について) プール、駐車場、野外ステージは、平成27年度から利用料金制度を導入している。令和2年度同様に新型コロナウイルス感染症における拡大防止のため、公園施設の閉鎖や利用者の人数制限を実施したことで利用者数は減少した。それに伴い利用料金収入も減少した。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市都市公園条例第2条、草津市立ロクハ公園駐車場条例第3条、草津市児童遊園条例第3条に規定される管理業務	
(1)ロクハ公園などの利用に関する業務	
(2)ロクハ公園などの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3)前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

履行の確認（施設全般の管理運営に関する業務）				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	市民からの要望などへの対応窓口が指定管理者へ一元化され、公園緑地課との情報共有をメールを用いた連絡票授受により開始した。過年度からの残件についても早期対応に努めたが、予算の制約などにより全件消化には至らなかった。ロクハ公園プールは「ロクハモデル」による感染症拡大予防対策を講じて草津市条例どおり5/15に屋内プールオープン、水泳教室開催が出来た。ロクハ公園玄関にデジタル看板を設置してロクハ公園の四季の魅力やイベント・講座予定を表示するサービスを開始した。（今後YouTubeでのサービス開始予定）	上半期評価	プール運営については、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら安全な施設運営を実施された。また、提案書のとおり管理棟内の入口にデジタルサイネージを設置し、ロクハ公園の情報発信を行い、ロクハ公園の魅力向上に努めた。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	ロクハ公園プールは8/27に滋賀県へ緊急事態宣言が適用されたため急遽中止となり12月まで前売券の返金を行った。7月から利用が再開されたデイキャンプ場では利用者にとって申込手続きが煩雑であったのでスマホ、パソコンから365日24時間申込可能な仕組みを導入して好評頂いている。また、高齢化によりチーム解散が続いた公園ボランティア補充のためレイカディア大学へ出向いて募集を行い、植栽ボランティアだけでなく新たにカトムシ飼育ボランティア9名が令和4年度から参加頂くことになった。	下半期評価	ロクハ公園内のお花見広場等の施設を適切な管理運営を実施するとともに、提案書のとおりデイキャンプの予約方法について、インターネットからの予約を可能とすることで、施設利用者の満足の向上に努めた。
☆☆☆☆		☆☆☆		

履行の確認（保守点検、清掃・維持管理、保安・警備および修繕業務）				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	プールや遊具など設備群ごとの特性を勘案した四半期毎の修繕執行計画を年初に策定し公園緑地課と合意形成した。流水プールは令和2年度第4四半期に草津市により起流ポンプ#1と#3改修工事が行われ、令和3年度第1四半期にプール底部の破損箇所の塗装修繕を行いロクハモデルによる対策の下で、より安心・安全で楽しいプールを提供した。	上半期評価	地元からの公園の維持管理に関する要望等について、公園施設等修繕業務は、四半期ごとの修繕計画を策定され、計画的な執行をされている。しかしながら、植栽管理業務については、剪定等の実施時期を決めるなど、業務の遂行するにあたり地元調整等を適切かつ迅速に対応されたい。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	過年度からの持ち越し案件への対応のため植栽管理の執行可能予算残が8月で使い果す状態となった。台風などによる倒木処理など緊急対応費用を残して、残件を整理して令和4年度の執行優先案を策定して公園緑地課と合意形成した。25mプールにおいて8月末に側面のアクリル板剥離が発生したが、8/27で今期利用中止となったので消火用のためにプール水は維持して第4四半期に修繕を行った。	下半期評価	公園施設等修繕業務については、四半期ごとの修繕計画について、各シーズンごとの修繕業務内容が明瞭であり適切に対応されている。今後も継続的に計画性のある修繕対応を実施されたい。
☆☆☆		☆☆☆		

サービスの質の評価（指定・自主事業の質）				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	ロクハ公園プロムナードをガーデニングのお手本として見て頂くために、レイズドベッド4基を追加して6基体制とした。GWフェア（羊の毛刈り体験）は中止となったが、さくらんぼの日やキノコウォッチングなど好評のシリーズ企画は新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施した。	上半期評価	ロクハ公園プールに関するアンケート調査を実施され、新型コロナ対策については9割以上の利用者から「満足」との回答を得られた点は高評価であるが、従業員の対応について意見があるため、改善に向けて実施されたい。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	緑化フェアは中止となったが、ロクハ荘と共同で22の小規模・分散型イベントをロクハ感謝月間として開催した。ガーデニング推進のためどりのサポートセンターはまちづくりセンターや地域サロンで駆けつけ型ガーデニング講座を開催し、また、ロクハ公園プロムナードに新たにハンギングバスケットを設置して来場者にご覧いただいている。	下半期評価	駆けつけ型のガーデニング講座を各地域まちづくりセンター等で実施され、緑化の啓発に努められた。また、地元住民からの要望について地元調整を行いながら、簡易的なものに関しては、至急対応するなど地元ニーズに応えられた。
☆☆☆		☆☆☆		

サービス安定性の評価（事業収益）				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	飲料自動販売機の設置について見直しを実施して、より収益性の高い業者へ切り替えるとともに込田公園へ新たに飲料自動販売機を設置して公園利用者へのサービス向上と収益性改善を図った。来園者に好評を頂いているコイとウサギのエサ販売を従来の対面販売からガチャガチャへ変更して収益を伸ばしている。	上半期評価	市内の都市公園等に自動販売機を設置したことにより、企業からの寄付金収入の向上に努められ、新たな収入源を確保し収益性の改善を図られた。
	☆☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	プール収益増加のため、インスタグラム（フォロワー400名）やFacebookによる情報発信、各情報誌／webサイトへの情報掲載に加えてプールサイドショーの開催を実施したが、新型コロナウイルス感染症対策による制約やピークとなるお盆時期の気温低下や8/27での打ち切りなどによりプール収益は悪化した。	下半期評価	昨年度に比べると事業収益は増加しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ以前の事業収益までには及ばず減少となったものの、プール運営においてはコロナ対策費として、令和2年度に購入した消耗品を再利用し、費用の削減に努められた。
☆☆☆		☆☆☆		